

## 全建総連 支援対策本部ニュース(No.49)

全建総連 東日本大震災支援対策本部  
ニュースは全建総連 HP にも掲載しています。 <http://www.zenkenoren.org/jishintaisaku.html>

### 岩手県連からの報告

## 全国と県内の仲間から大工道具を被災地へ

岩手県連会長 齋藤徳重

全国と県内の仲間の皆さんから届けられた大工道具の引き渡し式を5月28日、釜石職業訓練校と大船渡市役所で開催しました。

今回は2回目で事前に希望していた大船渡、陸前高田、住田から20名の方が参加し、前回寄贈を受けた佐藤国雄さんより「道具を頂き元気に働いている。今日は道具を失った方々に声をかけ集まってもらった。これから力を合わせて頑張っていく」とあいさつ、佐藤さんの指示でインパクトドライバー（新品）、丸鋸、鋸、カンナ、作業服、ヘルメットを渡しました。

参加した大森尚さん（28歳）は「現場で軽トラックごと流された。道具が無いため、仲間から借りて仕事をしていました。インパクトドライバー、丸鋸は高価なので買うことができないでいた」と声をつまらせました。

お礼の式では、千葉吉之助さん（63歳）が代表して「全国の皆さんに本当に感謝したい。私たちは、気仙大工として地区の復興に頑張っていく」とあいさつがありました。

県連からは拡大パンフレットを配布し、一人親方加入の相談者にも対応できました。今後は連絡を取り合い、組織作りをしていきます。



工務店サポートセンターから贈られたインパクトドライバーを受け取る釜石大工組合の菅原組合長(左側・右側は小松県連副会長)

## 釜石市、大船渡市で支援物資・大工道具類の引渡し式

岩手県連・菅原公夫

5月27日に大工道具を県連事務所で準備し、トラックに積みました。翌28日釜石方面、大船渡方面に岩手県連・齋藤徳重会長（県連対策本部長）をはじめ副本部長4人

が2班に分かれ出発しました。

場所は釜石職業訓練校の駐車場で行いました。午後1時30分には心配していた雨が止み、今回はわざわざ、鳥取県倉吉市の有志「集めて届ける」削ろう会くらよしの山根賢志（38歳）さん（建築大工）が、大工道具を地元で集め、岩手まで届けて参加しました。

釜石大工組合の菅原勲組合長、大槌建成組合の祝田秀廣組合長はじめ関係者が準備をして待つ中、車から道具を下ろすと、インパクトドライバーや電動丸鋸、電動鉋、水平器、手鉋、鋸、タオル、軍手、マスク等を渡しました。釜石大工組合では同日午後3時から組合加入者を呼んで引き渡しを行いました。「全国、そして県内の仲間へ感謝します」と大槌の祝田組合長さんから笑みがこぼれました。